

## 教育塔

教育塔は 1936 年に建てられ、当初は 1934 年の室戸台風で亡くなった学校の先生と生徒たちの記念碑であった。当時記録的な被害をもたらした室戸台風は、学校の始業日に直撃した。大阪の被害者 990 人の 4 分の 1 以上が生徒と教師であった。その時代の多くの校舎は強い台風には耐えられない木造の建物で、大阪の 200 以上の教育施設が台風の強風によって倒壊、またはひどく損壊したと伝えられている。

後に、建物が倒壊したときに生徒たちを保護し安全に導くために勇敢に命を投げ出した先生の話が広まった。教育塔の建設は一般からの寄付により賄われ、第二次世界大戦後も日本教職員組合によって管理されてきた。今日、教育塔は 1995 年に神戸を襲った阪神淡路大震災や、その後の災害犠牲者も慰霊の対象に含めている。